

「こんにちは松江清心養護学校です」



島根県立松江清心養護学校
令和6年6月14日 第2号

今月は、児童生徒会執行部企画の全校集会、地域に向けた学習（生馬小学校との学校間交流）の様子をお伝えします。

ホームページでは、松江清心養護学校の行事や授業の様子等が分かる写真を掲載していますので、ぜひご覧ください。



今年度初めての全校集会をしました



ヒントをもとに宝のある場所を予想し、みんなで探しに行きました。

執行部の生徒が活動を盛り上げました。

今年度、松江清心養護学校では、小学部6名、中学部3名、高等部6名の新生を迎え、全校生徒は57名になりました。

新生のことを知り、全校の児童生徒の交流を深めることを目的に行われた全校集会では、児童生徒会執行部の生徒が企画と司会進行を行い、縦割りグループで自己紹介や宝探しをしました。宝探しでは、グループごとに与えられたヒントカードを見て相談をしながら、校内のいろいろな場所に置かれている宝（新生の写真）を探しに行きました。全校で一斉に校内を移動する機会は久しぶりで、子どもたちの嬉しそうな表情がたくさん見られました。体育館に集まった子どもたちと病院で学習している子どもたちをリモートでつなぎながら、グループでの活動を楽しみ、子どもたちと教員みんなが楽しんだ時間となりました。

本校小学部と生馬小学校3・4年生との学校間交流がスタート♪

生馬小学校との学校間交流がスタートしました。今年度も、3回の交流活動を予定しています。5月には、生馬小児童を対象に理解教育の授業を実施し、これから始まる交流活動に向けて、本校や本校児童について話をしたり、車椅子の押し方や言葉かけなどについて体験を交えて確認したりしました。

交流当日は、本校児童も生馬小児童も最初は緊張した様子でしたが、活動でのかかわりの中で素敵な笑顔がたくさん見られました。まずは、4つの班に分かれて自己紹介をしました。生馬小の児童の元気のよいあいさつや大きなアクションを入れた自己紹介などを見聞きして、本校の児童は真剣な表情をしたり、笑ったりと、様々な表情で応えていました。各班では、リレー、ボール送りゲーム、演奏タイム、貨物列車などの活動をしました。本校児童が好きな活動と一緒にすることで、生馬小児童に本校児童のことを知ってもらう機会になりました。生馬小児童からも、「さっきわらってくれた!」などの声が聞かれ、児童間の初めてのかかわりの中で、お互いに感じたり表現したりする場面がたくさん見られました。交流を重ねることで、お互いにもっと友達のことを知って、さらにかかわりが深まっていくとよいと思います。

